

A D B、アジア・太平洋の 災害保険メカニズム構築を支援

【マニラ、2008年9月22日】 アジア開発銀行 (A D B) は、アジア・太平洋地域の各国の自然災害への対応力強化をめざし、[リスク保険メカニズムを構築・運営するプロジェクト](#)に資金協力することとなった。

同プロジェクトの資金としてこの度無償供与されたのは 80 万ドル。A D B の [日本特別基金](#) から供与される。資金活用の一環として、A D B では来る 11 月 4 日 (火) と 5 日 (水)、[専門家による会議](#) を都内にて開催予定している (日本国財務省との共催)。会議では複数国によるリスク・プールをはじめとするさまざまなリスクトランスファーマカニズムについて検討し、自然災害に対する各国の経済的負担軽減に役立てたいとしている。

会議では、初日の全体会合に引き続き、2 日目には 2 つの分科会を同時開催。それぞれ、「アジアのメガシティにおけるニーズとは」「太平洋島嶼国のためのリスク保険メカニズム構築の実現性」のテーマ (いずれも仮) のもと、議論を深める予定。

アジア・太平洋の途上国は、自然災害に対し弱い国が多く、大きな損害・被害を受けた場合に国を守るリソースが不足している。A D B の災害リスクマネジメント・スペシャリストのニール・ブリトン氏は、

「途上国政府は、自然災害を受けて多大な資金負担を強いられ、財政・経済上の変動性が高まってしまう」

と述べている。災害に見舞われた各国がインフラを再建し、経済モメンタムを回復するのに必要な経費は、年額 150 億ドルとの試算もある (2005 年)。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

A D B のニュースリリース (和文) は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

自然災害は年々発生数が増えているが、その多くはアジア・太平洋であることから、複数国間でリスクを分散するための保険およびファイナンス・メカニズムを立ち上げる必要がある。

リスク保険プールとは、グループ（またはプール）に参加するメンバー国がリスク共有について予め合意を取り決め、リスクの一定部分を引き受けるという構想で、既に先進国では導入例があるが、途上国では比較的なじみが薄い。

地域レベルのリスク保険メカニズムとしては、カリブ海諸国を対象とした世界銀行のスキームがあるが、地球温暖化に伴う海面上昇など、自然災害のリスクに多くの小国や低水位国がさらされているアジア・太平洋では前例がない。そのため、今回の会議の太平洋島嶼国分科会では、世銀関係者も協力し、プーリングシステムが太平洋地域にも適用可能かについて検討を行うことになっている。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

ADB のニュースリリース（和文）は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>